|  |
| --- |
| **2025大阪・関西万博に向けた障がいのあるアーティスト****による現代アート発信事業に係る企画提案公募要領** |

この度、2025大阪・関西万博（以下、「万博」という。）に向けた障がいのあるアーティストによる現代アート発信事業を実施します。

この事業については、民間事業者等の知識やノウハウ等を活用し、より効果的・効率的に実施するため、企画提案公募により受託事業者を募集します。

企画提案公募参加者は事業の趣旨を踏まえ、以下記載の事項を遵守のうえ提案してください。

本事業は「令和６年２月定例府議会大阪府一般会計予算」の成立を前提に事業化される停止条件付の事業です。

予算が成立しない場合には、提案を公募したに留まり、いかなる効力も発生しません。

**１　事業名（又は業務名）**

　　2025大阪・関西万博に向けた障がいのあるアーティストによる現代アート発信事業

(1) 事業の趣旨・目的

大阪府では、2025大阪・関西万博（以下、「万博」という。）を契機とし、障がいのあるアーティストの地域における自立を促し、障がいのあるアーティストの作品を現代アートとしてより認知を高めるため、令和７年度に万博会場において展示会を実施する予定です。（※）ついては、万博会場における展示の準備を兼ねて、令和６年度に府内アーティストの作品収集と、府外において展示会等を実施します。

　　（※）令和７年度万博会場での展示にかかる詳細については、『「2025大阪・関西万博に向けた

障がいのあるアーティストによる現代アート発信事業」委託仕様書』P.５「２提案に際しての参考資料」(1)を参照のこと。

　(2)契約期間

　　　令和６（2024）年５月（予定）～令和７（2025）年３月31日

　(3)開催場所

　　府外展示会場（３か所程度）

(4）委託上限額

 ３０，０００，０００円（税込）

(5) 業務概要（詳細は仕様書参照のこと）

　ア　万博展示会に展示する作品の収集・撮影等

イ　「ア」で収集した作品の中から万博展示会において展示する作品の選定・考察及びキュレーターの招へい等

　ウ　万博に向けた機運醸成のためのプレ展示会の実施

　　エ　万博展示会に向けたアーカイブの構築準備

**２　スケジュール**

　令和６年 ３月11日（月） 公募開始

令和６年 ３月15日（金） 説明会開催

令和６年 ３月22日（金） 質問受付締切

令和６年 ４月11日（木） 提案書類提出締切

令和６年 ４月下旬頃　　　 選定委員会

 ～５月上旬頃

令和６年 ５月中　　　　　 契約締結・事業開始（予定）

令和７年 ３月31日（月）　 事業終了

**３　公募参加資格**

次に掲げる要件をすべて満たす者又は複数の者による共同企業体（以下「共同企業体」という。）であること。

なお、共同企業体で参加する者にあっては、構成員全員が該当すること。（※（6）は共同企業体の代表構成員が有していればよい。）

(1) 次のアからクまでのいずれにも該当しない者であること。

ア　成年被後見人

イ　民法の一部を改正する法律（平成11年法律第149号）附則第３条第３項の規定によりなお従前の例によることとされる同法による改正前の民法（明治29年法律第89号）第11条に規定する準禁治産者

ウ　被保佐人であって契約締結のために必要な同意を得ていないもの

エ　民法第17条第１項の規定による契約締結に関する同意権付与の審判を受けた被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ていないもの

オ　営業の許可を受けていない未成年者であって、契約締結のために必要な同意を得ていないもの

カ　破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者

キ　暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第77号）第32条第１項各号に掲げる者

ク　地方自治法施行令第167条の４第２項各号のいずれかに該当すると認められる者（同項各号のいずれかに該当すると認められることにより、大阪府入札参加停止要綱に基づく入札参加停止の措置を受け、その措置期間を経過した者を除く。）又はその者を代理人、支配人その他の使用人若しくは入札代理人として使用する者

(2)　民事再生法（平成11年法律第225号）第21条第１項又は第２項の規定による再生手続開始の申立てをしている者又は申立てをなされている者（同法第33条第１項の再生手続開始の決定を受け、かつ、大阪府入札参加資格審査要綱に基づく物品・委託役務関係競争入札参加資格の再認定がなされた者を除く。）、会社更生法（平成14年法律第154号）第17条第１項又は第２項の規定による更生手続開始の申立てをしている者又は申立てをなされている者（同法第41条第１項の更生手続開始の決定を受け、かつ、同要綱に基づく物品・委託役務関係競争入札参加資格の再認定がなされた者を除く。）、金融機関から取引の停止を受けている者その他の経営状態が著しく不健全であると認められる者でないこと。

 (3) 府の区域内に事業所を有する者にあっては、府税に係る徴収金を完納していること。

(4) 府の区域内に事業所を有しない者にあっては、主たる事務所の所在地の都道府県における最近１事業年度の都道府県税に係る徴収金を完納していること。

(5)　消費税及び地方消費税を完納していること。

 (6)　大阪府入札参加停止要綱に基づく入札参加停止措置を受けている者又は同要綱別表各号に掲げる措置要件に該当する者でないこと。

(7)　次のアからウのいずれにも該当しない者であること。

ア　大阪府暴力団排除条例に基づく公共工事等からの暴力団の排除に係る措置に関する規則（令和２年大阪府規則第61号。以下「暴力団排除措置規則」という。）第３条第１項に規定する入札参加除外者（以下「入札参加除外者」という。）

イ　暴力団排除措置規則第９条第１項に規定する誓約書違反者（以下「誓約書違反者」という。）

ウ　暴力団排除措置規則第３条第１項各号のいずれかに該当すると認められる者

(8) 府を当事者の一方とする契約（府以外の者のする工事の完成若しくは作業その他の役務の給付又は物件の納入に対し府が対価の支払をすべきものに限る。以下同じ。）に関し、入札談合等（入札談合等関与行為の排除及び防止並びに職員による入札等の公正を害すべき行為の処罰に関する法律（平成14年法律第101号）第２条第４項に規定する入札談合等をいう。以下同じ。）を行ったことにより損害賠償の請求を受けている者でないこと。

**４　応募の手続き**

本事業の提案に参加を希望する者の受付手続等は、以下のとおりです。

「３　公募参加資格」を確認の上、必要な書類を受付期間内に提出してください。

1. **公募要領の配布及び応募書類の受付**

　　ア　配布期間

　　　　令和６年３月11日（月）から令和６年４月11日（木）正午まで

イ 配布方法

 　　　自立支援課ホームページからダウンロードしてください。

（<https://www.pref.osaka.lg.jp/jiritsushien/jiritsushien/2025expo-artproposal.html>）

※窓口・郵送による配布は行いません。

ウ 受付期間

 　　　令和６年３月11日（月）から令和６年４月11日（木）正午まで（※事前予約制）

　　　（土曜日、日曜日及び祝日を除く。午前10時から午後５時まで）

　　　　※提出日時については、事前に「エ」に記載する電話番号へ電話し、予約を行ってください。予約がない場合、対応にお時間をいただく場合があります。

　　エ 受付場所

　　　 大阪府福祉部障がい福祉室自立支援課社会参加支援グループ

　　　 住　　所：大阪市中央区大手前3-2-12　別館１階

　　　 電話番号：06-6941-0351（内線2454）

　　オ　提出方法

　　　　書類は必ず受付場所に持参してください。（郵送による提出は認めません。）

カ　費用の負担

　　　応募に要する経費は、すべて応募者の負担とします。

 **(2) 応募書類**

提案公募の応募にあたっては、次の書類を提出してください。

　※副本には会社名等提案者を類推できる記載は行わないこと。

　ア　応募書類

1. 応募申込書（様式１：１部）
2. 企画提案書（様式２：正本１部、副本10部）
3. 応募金額提案書（様式３：正本１部、副本10部）
4. 事業実績申告書（様式４：正本１部、副本10部）
5. 共同企業体で参加の場合

・　共同企業体届出書（様式５：１部）

・　共同企業体協定書（写し）（様式６：１部）

・　委任状（様式７：１部）

・　使用印鑑届（様式８－１、８－２：１部）

1. 誓約書（参加資格関係）（様式９：１部）

　　イ　添付書類（正本1部を提出してください）

　　　　　　　　（共同企業体はすべての構成員分を提出してください）

①定款又は寄附行為の写し（１部）（原本証明してください。）

　②法人登記履歴事項全部証明書（１部）（発行日から３カ月以内のもの）

③納税証明書（各１部）（未納がないことの証明：発行日から３カ月以内のもの）

・大阪府の府税事務所が発行する府税（全税目）の納税証明書

　　　　　・大阪府内に事業所がない方は、本店を管轄する都道府県税事務所が発行するものに代えます。

・税務署が発行する消費税及び地方消費税の納税証明書

④財務諸表の写し（１部：最近１カ年のもの、半期決算の場合は２期分）

・貸借対照表

　・損益計算書

　・株主資本等変動計算書

⑤障害者雇用状況報告書の写し（１部）※令和５年６月１日時点

　a 常用雇用労働者数が 43.5 人以上の事業主の場合

　・「障害者の雇用の促進等に関する法律」により事業主（常時雇用労働者数が43.5人以上)に義務化されている｢障害者雇用状況報告書（様式第６号）｣の写し

　・本店所在地管轄の公共職業安定所に提出済で受付印のあるもの

　　　　　（インターネットによる報告をした場合は、受付印は不要ですが、到達を確認できる書類を併せて提出して下さい。）

b 常用雇用労働者総数が 43.5 人未満の事業所の場合

・「障がい者の雇用状況」（様式 10：１部）

**(3) 応募書類の返却**

　　 応募書類は理由の如何を問わず、返却しませんのでご了解ください。

　　 なお、応募書類は本件に係る事業者選定の審査目的のみに使用し、他の目的には使用しません。

**(4) 応募書類の不備**

　　 応募書類に不備があった場合には、審査の対象とならないことがあります。

**(5) その他**

　 ア　応募は１者１提案とします（共同企業体構成員として参加する場合を含む）。

　　イ　応募書類の提出に際しては、Ａ４ファイルに綴って提出してください。応募書類は電子媒体（CD－R等）での提出もお願いします。

　　ウ　副本は選定委員会での説明資料になります。提案内容をより客観的かつ公正に審査するため、提案事業者が特定できる内容等（代表者、社章、所在地、電話番号等含む）が記載されている場合は、副本の当該箇所を黒塗りし提出してください。

　　エ　正本の表紙及び背表紙には提案事業タイトルと提案団体名を記入してください。

副本は、表紙・背表紙ともに提案団体名は不要です。

　　　　＜記入例＞「2025大阪・関西万博に向けた障がいのあるアーティストによる現代アート発信

事業」提案書

　　　　　　　　　　株式会社○○（法人名）

　　オ　書類提出後の差し替えは認めません（大阪府が補正等を求める場合を除く）。

　　カ　提出書類に虚偽の記載をした者は本件への参加資格を失うものとします。

**５　説明会**

　(1) 開催日時

　　　令和６年３月15日（金）　午後２時から午後３時まで

　(2) 開催場所（地図参照）

　　　自立支援課内会議室（住所：大阪市中央区大手前3-2-12　大阪府庁別館１階）

　(3) 申込方法

　　　ア　参加事業者名、参加者職・氏名、連絡先を記載の上、電子メールでお申込みください。

※電子メールアドレス：jiritsushien@sbox.pref.osaka.lg.jp

　イ　「件名」の始めに「【説明会申込：現代アート発信事業】」と明記してください。

ウ　口頭、電話またはＦＡＸによる申し込みは受け付けいたしません。

エ　会場の都合により、応募者１者につき２名まででお願いします。

オ　説明会では質問を受け付けません。質問がある場合は下記「６ 質問の受付」の方法により提出してください。

 (4) 説明会への申込期限

　　　令和６年３月14日（木）正午まで

****

**別館１階**

**障がい福祉室**

**自立支援課会議室**

**６　質問の受付**

(1)　受付期間

令和６年３月22日（金）正午まで

(2)　提出方法

　 　電子メールアドレス：jiritsushien@sbox.pref.osaka.lg.jp

ア　（様式11）に事業者情報、質問内容を明記の上、電子メールで送付ください。

イ　電子メール以外（口頭、電話等）による質問は受け付けません。ウ　件名に「【質問提出：現代アート発信事業】」と明記してください。

エ　送信後、必ず電話連絡（06-6941-0351（内線2454））をお願いします。

オ　質問への回答は令和６年３月28日（木）までに自立支援課ホームページ

（<https://www.pref.osaka.lg.jp/jiritsushien/jiritsushien/2025expo-artproposal.html>）に掲示し、個別には回答しません。

**７　審査の方法**

(1) 審査方法

　ア　(2)の審査基準に基づき、外部委員で構成する選定委員会による審査を行い、最優秀提案者を決定します。ただし、最高点の者が複数者いる場合は、提案金額の安価な者を最優秀提案事業者とします。

イ　審査は、書類審査及びプレゼンテーション審査にて行います。プレゼンテーション審査の日時は、事前に通知を行います。

　プレゼンテーション審査にはパワーポイント等の機材は使用できませんのでご了承ください。

ウ 最優秀提案者の評価点が、審査の結果、100点満点中60点以下の場合は採択しません。なお、審査内容に係る質問や異議は一切受け付けません。

 　エ　最優秀提案者は特別の理由がないかぎり、契約交渉の相手方に決定します。

(2) 審査基準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 審 査 項 目 | 審 査 内 容 | 配点 |
| 事業目的及び事業内容の理解・計画性 | ◆事業目的及び内容に関する理解・知識が十分にあるか。（10点）◆事業計画の実行性が高く、計画的に構築されているか。（10点）・事業実施計画 | ２０点 |
| 事業実施体制 | ◆全体の事業体制が、効果的かつ円滑に執行が可能となる人員配置計画及び組織体制となっているか。・配置人員及び支援体制 | １０点 |
| 提案内容の効果・実現性 | 下記の項目について、委託業務の目的を踏まえて、具体的な取組内容のもと、効率的・効果的な実施が見込めるか。◆万博展示会に展示する作品の収集・撮影等（15点）・障がい福祉分野及び文化芸術分野の専門的知見や経験、ノウハウを有する人員配置となっているか・作品の収集点数は設定をクリアした上で、綿密な調整を踏まえた収集方法となっているか◆万博展示会において展示する作品の選定・考察及びキュレーターの招へい等（22点）・府がこれまで取り組んできた障がいのあるアーティストの文化芸術活動の趣旨を理解した上で、万博及び障がいのあるアーティストの現代アート発信事業としてふさわしいテーマ設定となっているか・想定されるキュレーターの招へいの実現性があるか・想定されるキュレーターは障がいのあるアーティストのアート作品を現代アートとして考察ができうる人物か◆万博に向けた機運醸成のための展示会の実施（20点）・府外展示会のスケジュールや実施場所は実現性のあるものか・障がいのある方も来場しやすいよう、各種アクセシビリティに配慮した提案か・障がいのあるアーティスト作品が現代アートとして認知されるべく国内外に広く発信できる仕組みとなっているか・万博会場への集客とつなげる実現性のある仕掛けとなっているか | ５７点 |
| 障がい者雇用 | ◆常用労働者43.5人以上の場合、法定雇用障がい者数を超える障がい者を雇用しているかどうか。または、常用雇用者43.5人未満の場合、１人以上障がい者を雇用しているかどうか。 | ３点 |
| 費用積算根拠の妥当性 | ◆次の計算式により得点を算出する（小数点以下切り捨て）（上限額からの減額率に応じて加点する方式） | １０点 |
|  　　　　　　　　　　提案価格のうち最低価格得点 ＝10点×自社の提案価格 |
| 合　　　　計 | １００点 |

(3) 審査結果

ア　契約交渉の相手方が決定した後、審査結果は採択に関わらず、応募いただいた全応募者に通知します。

イ　選定過程の透明性を確保する観点から、以下の項目を自立支援課ホームページ

（<https://www.pref.osaka.lg.jp/jiritsushien/jiritsushien/2025expo-artproposal.html>）において公表します。

応募者が２者であった場合の次点者の得点は公表しません。

① 優秀提案者及び契約交渉の相手方と評価点

＊品質点及び価格点を配点した場合の価格点・提案金額

② 全提案者の名称　＊申込順

③ 全提案者の評価点　＊得点順 内容は①に同じ

④ 優秀提案者の選定理由　＊講評ポイント

⑤ 選定委員会委員の氏名及び選任理由

⑥ その他（最優秀提案者と契約交渉の相手方が異なる場合は、その理由）

(4) 審査対象からの除外（失格事由）

　　　次のいずれかに該当した場合は、提案審査の対象から除外するとともに、別途、入札に準じて入札参加停止等の措置を講じることとします。

　　ア　選定委員に対して、直接、間接を問わず、故意に接触を求めること。

　　イ　他の応募提案者と応募提案の内容又はその意思について相談を行うこと。

　　ウ　事業者選定終了までの間に、他の応募提案者に対して応募提案の内容を意図的に開示すること。

　　エ　応募提案書類に虚偽の記載を行うこと。

　オ　その他選定結果に影響を及ぼすおそれのある不正行為を行うこと。

**８　契約手続きについて**

(1) 契約交渉の相手方に選定された者と大阪府との間で協議を行い、契約を締結します。

(2) 契約金額の支払いについては、精算払いとします。

(3) 採択された提案については、採択後に大阪府と詳細を協議していただきます。

(4) 契約に際して、暴力団排除措置規則第８条第１項に規定する誓約書（様式12-1、12－2）を提出いただきます。誓約書を提出しないときは、大阪府は契約を締結しません。

(5) 契約交渉の相手方が、契約交渉の相手方として決定した日から契約締結の日までの間におい

て、暴力団排除措置規則第３条第１項に規定する入札参加除外者、同規則第９条第１項に規定する誓約書違反者又は同規則第３条第１項各号のいずれかに該当したと認められるときは、契約を締結しません。

 (6) 契約交渉の相手方が、契約交渉の相手方として決定した日から契約締結の日までの間において、

次のア又はイのいずれかに該当したときは、契約を締結しないことがあります。

ア　大阪府入札参加停止要綱に基づく入札参加停止の措置を受けている者又は同要綱別表各号に掲げる措置要件に該当する者

イ　府を当事者の一方とする契約に関し、入札談合等を行ったことにより損害賠償の請求を受けた者

(7) 契約相手方は、この契約の締結と同時に、契約金額の100分の５以上の額の契約保証金を納付しなければならない。ただし、契約保証金の納付は、次に掲げる担保の提供をもって代えることができます。

ア　国債又は地方債。この場合において提供される担保の価値は、額面金額又は登録金額による。

イ　政府の保証のある債券又は銀行、株式会社商工組合中央金庫、農林中央金庫若しくは全国を地区とする信用金庫連合会の発行する債券。この場合において提供される担保の価値は、額面金額又は登録金額（発行価格が額面金額又は登録金額と異なるときは、発行価格）の８割に相当する金額による。

ウ　銀行又は大阪府が確実と認める金融機関（出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律（昭和29年法律第195号）第３条に規定する金融機関（銀行を除く。）をいう。以下この項において同じ。）が振り出し、又は支払保証をした小切手。この場合において提供される担保の価値は、小切手金額による。

エ　銀行又は大阪府が確実と認める金融機関が引き受け、又は保証若しくは裏書をした手形。この場合において提供される担保の価値は、手形金額による。

オ　銀行又は大阪府が確実と認める金融機関に対する定期預金債権。この場合において提供される担保の価値は、当該債権の証書に記載された債権金額による。

カ　銀行又は大阪府が確実と認める金融機関の保証。この場合において提供される担保の価値は、保証書に記載された保証金額による。

(8)　(7)の規定にかかわらず、次のいずれかに該当するときは、契約保証金の全部又は一部の納付を免除します。

ア　この契約による債務の不履行により生ずる損害をてん補する履行保証保険契約（保険金額は、契約金額の100分の５以上）を締結したとき。この場合においては、契約相手方は、履行保証保険契約の締結後、直ちにその保険証券を大阪府に寄託しなければならない｡

イ　大阪府財務規則（昭和55年大阪府規則第48号）第68条第３号に該当する場合における契

約相手方からの契約保証金免除申請書の提出（国、地方公共団体、独立行政法人通則法第二条

第一項に規定する独立行政法人、国立大学法人法第二条第一項に規定する国立大学法人、地方

独立行政法人法第二条第一項に規定する地方独立行政法人又は沖縄振興開発金融公庫と同種

類及び同規模（当該契約金額の７割以上）の契約履行実績が過去２年間で２件以上ある場合で、

かつ、不履行がないと認めるとき）。

ウ　大阪府財務規則第68条第６号に該当する場合

**９　その他**

応募提案にあたっては、大阪府公募型プロポーザル方式実施基準、公募型プロポーザル方式応募提案・見積心得、公募要領、仕様書等を熟読し遵守してください。